

愛知県スタートアップ支援拠点整備等事業 事業概要

1 背景

県の主力産業である自動車産業においては、CASEやMa a Sへの対応が求められているなど、100年に一度の大変革期を迎えており、デジタル技術の加速度的な進展により、この地域の産業構造も大きく変革することが想定される。

こうした歴史的な転換期にあっても、引き続き本県が産業競争力を維持・強化していくためには、革新的ビジネスモデルや最先端技術を持つスタートアップを起爆剤としたイノベーションの創出が不可欠であることから、世界最高品質のスタートアップ支援プログラム等をワンストップ・ワンルーフで提供するスタートアップ中核支援拠点を整備することとした。

2 「Aichi-Startup 戦略」の策定 (2018年10月)

愛知県独自のスタートアップ・エコシステム形成に向け、2018年10月に「Aichi-Startup 戦略」を策定(2021年3月改定)。企業、大学、経済団体、支援機関、金融機関、行政など関係者の施策をパッケージ化(85の支援プログラムを位置づけ)。スタートアップの創出・育成・展開・世界進出への流れと、有力スタートアップを世界から誘引する流れの両面から展開。

政策の中核として「STATION Ai プロジェクト」を位置づけ、ハード・ソフトの施策を、日本の中心であるここ愛知で集中的に展開。

地域総合戦略
「Aichi-Startup 戦略」



【STATION Ai プロジェクト】

[ハード] STATION Ai (2024年10月オープン予定)
PRE-STATION Ai (2020年1月オープン)



[ソフト]

(海外) テキサス大学オースティン校、シンガポール国立大学、STATION F、INSEAD、清華大学(TUSホールディングス)をはじめとしたスタートアップ支援機関・大学と各種連携プログラムを実施。

(国内) あいちスタートアップキャンプ、Aichi Startup Bridge Accelerate Aichi by 500 Startups などの施策を展開



3 内閣府「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」の認定 (2020年7月)

国が、我が国の強みである優れた人材、研究開発力、企業活動、資金等を生かした世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステム拠点の形成を目指し、地方自治体、大学、民間組織等が策定した拠点形成計画を認定するもの。

本地域は、(一社)中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市、浜松市をコアメンバーとして組成したコンソーシアム「Central Japan Startup Ecosystem Consortium」において、拠点形成計画を作成し、2020年7月に内閣府から認定。

4 事業計画地

愛知県名古屋市昭和区鶴舞



国土地理院地図を加工して作成

スタートアップ中核支援拠点

ステーション Ai
「STATION Ai」



- 建築面積 4,391 m²
- 延床面積 23,098 m²
- 高さ 地上7階/30.0m

5

事業方式及

PFI手法「BTコンセッション方式」

- 設計・建設 (BT方式) 2021年10月～2024年9月 (3年間)
- 維持管理・運営 (コンセッション方式) 2024年10月～2034年9月 (10年間)

6 事業者選定スケジュール

年月	内容
2019年 9月 6日	「ステーションAi」構想の公表
2020年 8月 3日	実施方針の公表
11月 17日	入札公告、入札説明書等の公表
2021年 5月 7日	入札及び開札、事業提案書の受付
7月 2日	応募者によるプレゼンテーション・ヒアリング審査
7月 21日	落札者の決定及び公表

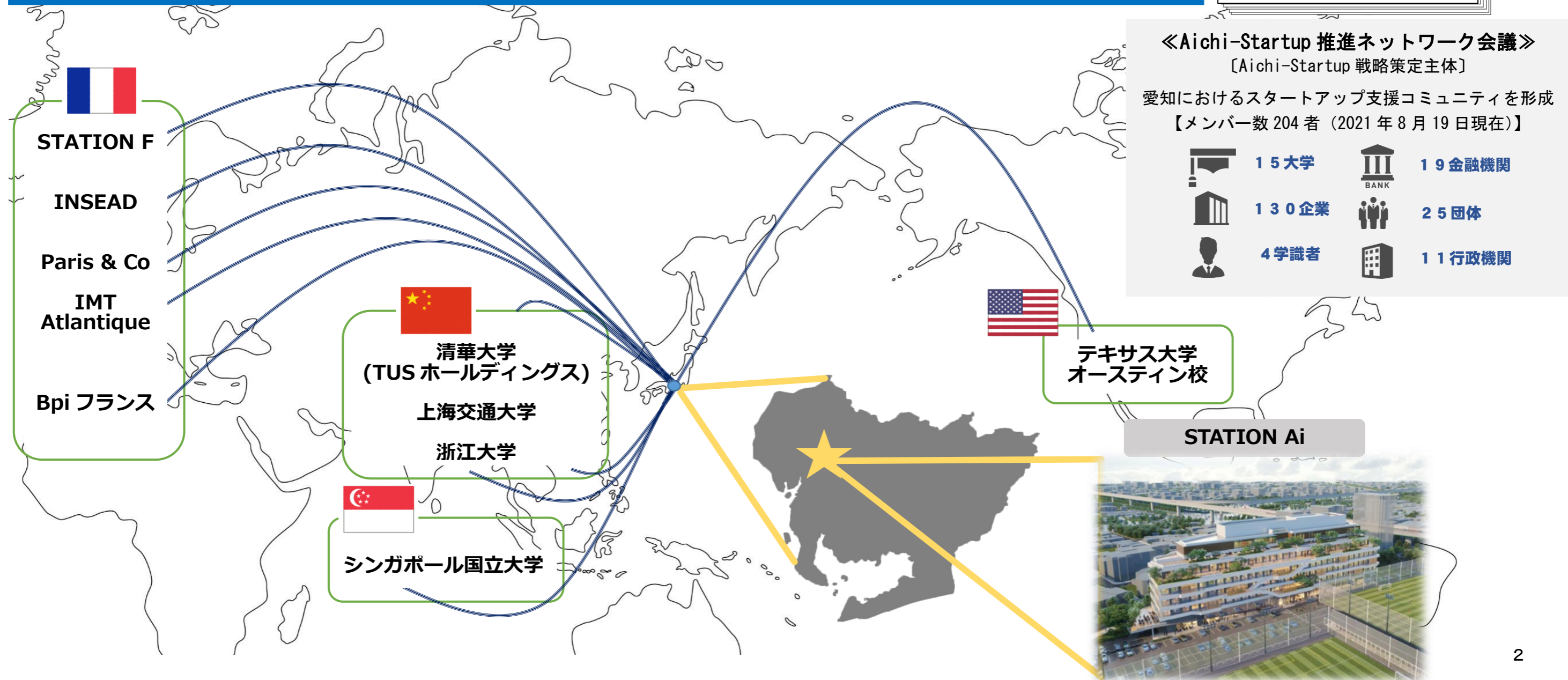
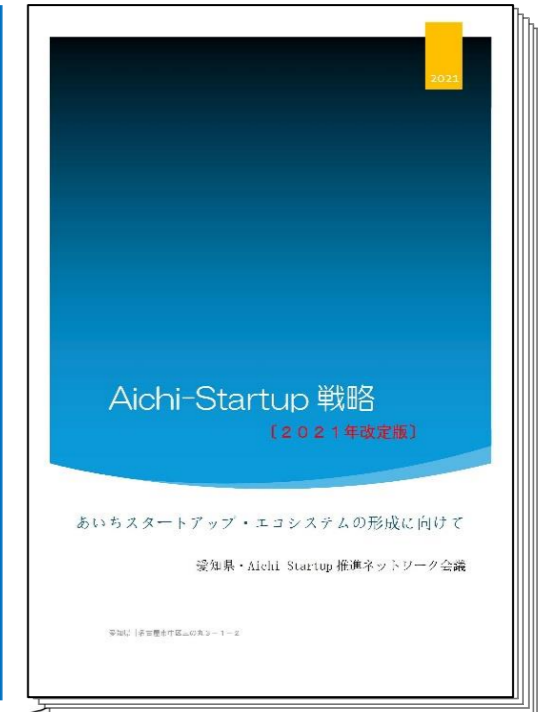
7 契約金額

14,348,330,933円(税込)(運営権対価提案額 2.55億円(税込))

8 事業全体スケジュール

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度～2034年度
基本協定の締結 ○ 事業仮契約の締結 ○ 2021年9月7日	整備期間 約3年 (設計・建設・供用準備)	約3年	2034年9月
令和3年9月議会 事業契約議案の提出 ○ 2021年9月	供用開始 2024年10月		
事業契約の締結 ★ 2021年10月	運営体制構築 設計 / 建設工事・供用準備(3年)		運営・維持管理 (10年)

- 愛知県独自のスタートアップ・エコシステム形成に向け、2018年10月に「Aichi-Startup 戦略」を策定（2021年3月改定）。企業、大学、経済団体、支援機関、金融機関、行政など関係者の施策をパッケージ化（85の支援プログラムを位置づけ）。
- スタートアップの創出・育成・展開・世界進出への流れと、有力スタートアップを世界から誘引する流れの両面から展開。
- 政策の中核として「STATION Ai プロジェクト」を位置づけ、ハード・ソフトの施策を、日本の中心であるここ愛知で集中的に展開。
- 2024年10月の供用開始を目指して、PFI法に基づくBTコンセッション方式で「STATION Ai」の整備を推進。
- それまでの間、「PRE-STATION Ai」（WeWork グローバルゲート名古屋）で総合支援。
- 海外のスタートアップ支援機関・大学等と連携（現在、10機関・大学）を強化し、「STATION Ai」を中核としたスタートアップ・グローバルコミュニティを形成。
- 世界最有力のスタートアップ・エコシステムとの融合により、世界に類例のない国際的なイノベーション創出拠点を目指す。



「Aichi-Startup 推進ネットワーク会議」
[Aichi-Startup 戦略策定主体]
愛知におけるスタートアップ支援コミュニティを形成
【メンバー数 204 者（2021年8月19日現在）】

15 大学	19 金融機関
130 企業	25 団体
4 学識者	11 行政機関

スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市

- 「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」は、国が、我が国の強みである優れた人材、研究開発力、企業活動、資金等を生かした世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステム拠点の形成を目指し、地方自治体、大学、民間組織等が策定した拠点形成計画を認定するもの。
- 選定された都市に対して、国は、海外展開支援や規制緩和等を積極的に実施。当地域は、2020年7月に本拠点都市に選定された（※）。
- 中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市、浜松市をコアメンバーとしてコンソーシアムを組成し、各機関が実施する施策を中心に形成計画を作成。
- 愛知県の施策としては、「STATION Ai」を中核とした「Aichi-Startup 戦略」に位置づけた主な事業を反映。

（※）スタートアップ・エコシステム拠点都市一覧

【グローバル拠点都市】

- ・スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム
- ・Central Japan Startup Ecosystem Consortium (当地域)
- ・大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム
- ・福岡スタートアップ・コンソーシアム

【推進拠点都市】

- ・札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会
- ・仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会
- ・広島地域イノベーション戦略推進会議
- ・北九州市 SDGs スタートアップエコシステムコンソーシアム

【コンソーシアムの組成】

- ▷ 名称：Central Japan Startup Ecosystem Consortium
- ▷ 構成：Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium、浜松市スタートアップ戦略推進協議会
- ▷ 代表者：一般社団法人中部経済連合会会長
- ▷ 構成組織：一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市（事務局）、浜松市始め 172 企業・団体・大学等
- ▷ コンセプト：
 - ① 卓越した次世代教育を受けた人材の輩出
 - ② 海外ネットワークの拡大・深化と求心力の強化
 - ③ ディープテックを活かした共創・オープン化による社会実装・社会課題解決
 - ④ ベンチャーファイナンスの仕組みを構築

【J-Startup CENTRAL の選定】

- 経済産業省が実施する官民集中支援プログラム「J-Startup」の地域版である「J-Startup CENTRAL」を開始。
- 2021年1月に当地域からグローバルな活躍を目指すスタートアップを選定。
 - ▷ 対象：愛知県内及び浜松地域に本社のあるスタートアップ、起業後概ね10年以内の企業
 - ▷ 選定者数：20社（愛知・名古屋地区14社、浜松地区6社）

【内閣府アクセラレーションプログラムへの参加】

- 内閣府において、グローバル拠点都市のスタートアップを対象として海外トップアクセラレータによるアクセラレーションプログラムを実施。
- J-Startup CENTRAL 選定企業のうち、当地域から12社が参加。
 - ▷ 時期：2021年1月末～3月末（4月13日、15日にデモデイ開催）
 - ▷ 内容：海外トップアクセラレータ（※）の実施するアクセラレーションプログラムに参加し、事業構想策定、プロモーション活動に係る支援等を受け、海外投資家等に対するデモデイを通じ、海外市場展開、ネットワークの構築等を目指す。

（※）Techstars (Born Global Course)、WiL World Innovation Lab (Global Preparation Course)



**J-Startup
CENTRAL**

〔ロゴの意味〕

「J-Startup」のロゴがベース。
カラーはディープテックを表すディープブルーと
スタートアップの進取の気風を表すグリーン。

PRE-STATION Ai 事業

1 目的

- 2024年10月開設予定の「STATION Ai」の整備に先駆けて、スタートアップの総合支援を行う拠点「STATION Ai 早期支援拠点」を2020年1月に WeWork グローバルゲート名古屋内に設置。その後、2021年4月に早期支援拠点の機能を拡充・強化した上で、「PRE-STATION Ai」を開設し、スタートアップの総合支援体制を構築。



2 総合支援の対象者

- PRE-STATION Ai の入居者（右の一覧参照）及び入居希望者、愛知県が行うソフト支援事業に参画のスタートアップ、スタートアップとして起業を目指す者など。

3 内容

- オフィス等の提供、起業支援、事業会社とのオープンイノベーション、製品開発、試作品作成、資金調達など、スタートアップ関連事業を集中的に展開。統括マネージャーを配置する「あいちスタートアップワンストップセンター」を設置。



「グローバルゲート名古屋」11階に立地



PRE-STATION Ai 開所式



最近の PRE-STATION Ai の風景

【統括マネージャーについて】

実施体制：PRE-STATION Ai に3名の統括マネージャーを配置
随時、テーマ別のメンターによるバックアップ



しのほら ゆかか
篠原 豊



やまもと ゆり
山本 有里



てらだ きよたか
寺田 圭孝

(敬称略)

受託会社：パーソルイノベーション株式会社

○ これまでの実績（2020年6月22日～2021年7月31日）：成果件数：計25件

起業	企業との協業	製品開発	試作品作成	資金調達
6件	4件	3件	3件	9件

○ 入居者一覧：36者48名（アルファベット・五十音順）（2021年9月7日時点）

3 DANTZ 技術の問題でお困りの事業者と余力のある企業所属のエンジニアを取り持つて双方の問題を解決。	AI Assist株式会社 「製造業をアップデートする」をビジョンにAI/IoT技術を活用した製造業向けプラットフォームを開発。	BLUE BEES株式会社 プロスポーツ運営とそれを通じた「先端IT人材創出、社会課題解決型」ビジネス。	株式会社CANARY 「家族型健康管理アプリ」を開発し、ウェルネス型事業を展開。
株式会社Cogane Studio 化粧品ビジネスマッチングサイトBenetenの開発と運営。その他アプリ開発、ITサポート事業。	D-Tech 自宅で口内写真を記録し、歯科医から口内環境のアドバイスをもらえるオンライン予防歯科サービス。	futatema デジタルマーケティング育成事業およびマーケティングを活用したコンテンツ企画事業。	Ibis株式会社 意志ある外国人の日本企業での戦力を図る育成スキームを産学連携で創出、新人財ビジネスを展開。
ICORE 女性向けオンラインキャリア支援プラットフォームICORE（イコア）現在スクール事業開講中。	株式会社ignArt 心理的安全性の高い職場風土の実現を目的としたwebアプリケーションサービスの展開。	Kirakuna株式会社 サッカーチームのDX、選手の育成事業およびマーケティングを活用したコンテンツ企画事業。	Libful グレーゾーンの子、障害を持つ子の親向け、似た境遇の先輩親とのオンラインマッチング。
株式会社New Ordinary 移動価値の創出を目指す企業。あなたが感じる移動したくなる目的をAIでレコメンド。	Our Ethical 自分にぴったりのエシカル商品が見つかるオンラインマーケットプレイス。	株式会社Opt Fit 危機探知システムからジム内顧客動向解析を可能にする、フィットネスジムのDX化支援事業。	株式会社Papillon eSport大会の開催・運営をスマホ1つで簡略化できるアプリを開発。
picks design 地域ならではの体験を家から楽しめるオンライン体験サービス。	株式会社R Tプロジェクト 建築現場のサポートアプリ「GENCHO」及びプラットフォームの開発。	Senscom 独自の感情推定技術で快適さを測定し様々なサービスの評価に反映。	株式会社Step In International AIを導入した体作り・サプリメントを使ったカフェの展開による健康水準向上をサポートする事業。
SACIQ株式会社 リアルタイム翻訳と外国人・日本人の出会いを通して新たな言語学習方法を提供するサービス。	SWIMMER株式会社 製造現場が手に取るように見える生産管理を実現し、ジャストインタイム方式の儲かる現場を提供。	T3XI 「オールフレイル」に対応した発話力向上トレーニングプラットフォーム『MOUMOO』事業。	株式会社Team Presso コワーキングスペース・シェアオフィス運営をサポートするシステム「CoWorks」の提供。
株式会社TOWING 高機能ソイル栽培システムの開発や販売、運用、導入支援等を行う名古屋大学発ベンチャー。	Vertech Consulting株式会社 未経験エンジニアとベンチャー中小企業のITエンジニア採用をマッチングさせるプラットフォーム。	えいぶら 教育×AIを軸に人の作業を機械で代替するシステムを開発・提供。	株式会社カチナ 新規事業の営業に特化したデザイン&マーケティングオートメーションサービス。
株式会社ジースムーズ ニューノーマル時代のコラボレーション・ワークハブmuuvの開発・提供。	ちくわてく テレワークを支援する額縁型デバイスの販売事業。	どんぐりビット合同会社 AIシェア冷蔵庫など、地域密着型需給マッチングプラットフォームによりフードロスゼロを目指す。	バスカルボラボ合同会社 IoT機器向け認証製品の企画、開発、販売及び導入支援サービス。
株式会社ファースト・オートメーション 産業用ロボット導入プラットフォーム開発。ロボット導入のハードルを下げ営業プロセスを改善。	フェアトレードマルシェ株式会社 フェアトレード/エシカル消費市場の電子通貨プラットフォーム事業。	ふれAI 家族の声のアルバム「ふれAIレコーダー」のサービス事業、及び感情解析AIを活用した事業開発。	株式会社ミライ菜園 野菜の病害虫診断&栽培SNSアプリSCIBAIの提供。

海外スタートアップ支援機関・大学との連携

○ これまで、知事のイニシアチブのもと世界を代表する先進的なスタートアップ支援機関・大学とMOUを締結するなど連携体制を深化。これら連携機関の協力により、愛知県のスタートアップ・エコシステムの加速・拡大に向けた具体的なプログラムが進行。

国名	大学・機関名	MOU締結/プログラム進行状況	主な特徴
(1) アメリカ	テキサス大学オースティン校	・連携プログラム進行中	オースティンのエコシステム形成の中心的役割
(2) シンガポール	シンガポール国立大学	・2019年9月MOU締結 ・連携プログラム進行中	東南アジアのスタートアップ先進地
(3) フランス	INSEAD	・連携プログラム進行中	世界有数の経営大学院
	Paris & Co	・2019年8月MOU締結 ・連携プログラム進行中	12のテーマ別拠点を展開
	IMT Atlantique	・2019年8月MOU締結 ・連携プログラム進行中	フランスの代表的グランゼコールの一つ
	Bpiフランス	・2021年2月MOU締結 ・2021年度より連携プログラム開始	スタートアップの資金調達を重点支援
(4) 中国	STATION F	・MOU締結に向けて調整中 ・連携プログラム進行中	世界最大級のスタートアップ支援拠点
	清華大学 (TUSホールディングス)	・2019年9月MOU締結済み ・連携プログラム進行中	中国全土にサイエンスパークを持ちスタートアップ支援
	上海交通大学	・2019年11月MOU締結 ・2021年度より連携プログラム開始	医療・ヘルスケア等に強み
	浙江大学	・MOU締結に向けて調整中	杭州：中国のスタートアップ先進地の一つ



○ 連携プログラム

(1) アメリカ

テキサス大学オースティン校 (UTA) と連携し、「スタートアップ北米市場展開プログラム」と県内の「支援機関向けプログラム」として、UTAのノウハウを学ぶワークショップを実施。



(2) シンガポール

シンガポール国立大学から知見を得ながら、スマートシティ実現をテーマに、国内及び東南アジアのスタートアップと愛知県企業等によるビジネス展開を目指す「協業プログラム」等を実施。



【主な成果 (2020年度)】

スマートシティ実現をテーマに、4の企業・団体と延べ13社のスタートアップ (国内7、海外6) が参加し、ビジネス展開に向けたPoCを実施した。プログラム終了後も、社会実装に向けて複数のプロジェクトが進行している。

(3) フランス

INSEADと連携し、企業内起業家やスタートアップとのオープンイノベーションを推進する人材の創出を目的とする「INSEADイノベーションプログラム」を実施。また、その他の機関とも交流セミナー等の連携プログラムを実施。



【主な成果 (2020年度)】

INSEADの人材育成プログラムには、トヨタ自動車やデンソーなどの県内大企業を始めとする14社から20名が参加し、オープンイノベーション等の知見を習得した。

(4) 中国

中国・清華大学の傘下組織TUSホールディングスと連携し、「県内スタートアップ支援プログラム」として中国市場への展開支援と中国スタートアップと愛知県内企業との協業を目指す「マッチングプログラム」等を実施。



【主な成果 (2020年度)】







県内スタートアップ支援プログラムでは、3社を支援。ピッチイベントに中国企業39名が参加した。マッチングプログラムでは、14社の中国スタートアップが参加し、県内企業との10件の個別協議に結び付いた。

【主な成果 (2019~2020年度)】

スタートアップ北米展開支援プログラムでは、これまで18社が参加し、UTAから潜在的なビジネスパートナー延べ291社の紹介を受け、8件の秘密保持契約 (NDA) 締結やサンプル提供に結び付いた。

国内におけるスタートアップ支援事業

○ 2018年10月に策定した「Aichi-Startup 戦略」に基づき、スタートアップの各成長ステージで生じる経営課題の解決に向けた支援プログラムを、国内事業として展開。

事業名	ステージ (※)	目的	内容	主な成果
あいちスタートアップキャンプ 	Seed	「革新的ビジネスアイデア」で起業しようとする者や起業間もない者の発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 起業家育成プログラム…① ○ 名古屋ピッチイベント…② ○ 東京等で開催されるピッチイベント登壇支援…③ 	<2018～2020 年度> ① 参加者数 144 名 ② 登壇者数 22 組 ③ 登壇者数 6 組
PRE-STATION Ai 統括マネージャー・ビジネスプランコンテスト 	Seed	PRE-STATION Ai に統括マネージャーを配置し、相談窓口やスタートアップへの総合支援、ビジネスプランコンテスト等を実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談業務（起業準備、資金調達等）…① ○ インキュベーションプログラム…② ○ ビジネスプランコンテスト…③ ○ PR イベント 	<2020 年度> ① 相談実績 50 件 ② 参加者数 8 社 ③ 受賞者数 3 者
あいちスタートアップ創業支援事業費補助金（起業支援金）	Seed	スタートアップの創出を資金面から支援する起業支援金を支給し、伴走支援を実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 補助額：25 万円以上、200 万円以下（移住を伴う場合は 100 万円上乗せ） ○ 補助率：1 / 2 以内 	<2019～2020 年度> ・支給件数 28 件
Aichi Startup Bridge （パートナーVC 制度） 	Seed Early	VC とのネットワーク、当地域へのコミュニティへの参加を通じて、スタートアップと VC が出会いやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ パートナーVC の認定 ○ パートナーVC とスタートアップの定期的なミーティング（出会い）の機会提供 ○ スタートアップの資金調達に向けた勉強会 等 	<2021 年度新規事業> ・パートナーVC 13 社認定
Accelerate Aichi by 500 Startups 	Seed Early	愛知県内スタートアップの成長支援と、海外スタートアップの愛知への誘引と県内のモノづくり等の事業会社とのオープンイノベーション創出	<ul style="list-style-type: none"> ○ グローバルレベルのアクセラレーター事業者による県内等スタートアップの成長支援プログラム ○ 海外スタートアップ誘引し、県内事業会社とオープンイノベーションを創出するプログラム 	<2021 年度新規事業> ・アクセラレーター事業者 500 Startups
あいちオープンイノベーションアクセラレーター 	Early	愛知県内外からのスタートアップの誘引・育成・支援及び、県内事業会社等とのオープンイノベーション創出（2020 年度に事業終了し、上記事業に発展）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内外のスタートアップに対する 5 か月にわたる集中支援プログラム ○ 県内モノづくり等企業とのマッチング 	<2018～2020 年度> ・参加スタートアップ 25 社 ・協業等件数 21 件
あいちマッチング 	Expansion	首都圏等スタートアップと県内企業とのビジネスコーディネートによる経営革新、付加価値創造	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビジネスコーディネーターによる個別マッチング ○ 県内及び首都圏等における県内企業と首都圏等スタートアップとのマッチングイベント 	<2019～2020 年度> ・マッチング件数 258 件 ・協業等件数 8 件
新型コロナウイルス感染症対策新サービス創出支援事業費補助金	Expansion	新型コロナウイルス感染症の社会経済への影響に対応するための新サービス・新製品の開発や販路拡大を行う中小企業等に対する補助	<ul style="list-style-type: none"> ○ 補助額：75 万円以上、500 万円以下 ○ 補助率：3 / 4 以内 	<2020 年度> ・支給件数 21 件 （スタートアップのみ）

※ スタートアップの成長ステージについて

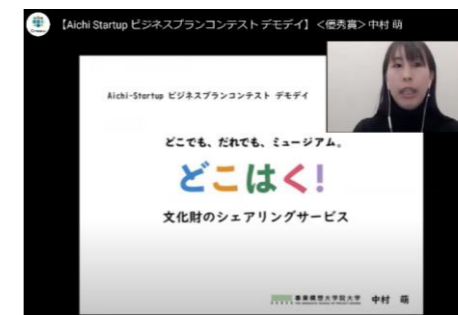
【Seed】…創業期。コンセプトやビジネスモデルは存在するが、具体的な製品やサービス自体は未完成の状態。

【Early】…事業化初期。製品やサービスを実際に開発し、リリースを始めた状態。

【Expansion】…成長期。製品やサービスの販売が軌道に乗り、黒字化が見えてきた状態。



<スタートアップキャンプ>



<ビジネスプランコンテスト>



<あいちマッチング>